

ふくしま共創のまちづくり計画

北信地区

作成：北信地区地域の個性を生かした
まちづくり計画策定懇談会
事務局：北信支所内
電話：(024) 554-1111

地域ビジョン

「やすらぎと潤いのある 安全・安心なまち」

- (1) 子どもや高齢者が家庭や地域社会の中でいきいきと暮らし、生涯にわたって心豊かに生活を送るための生涯学習が充実したまち
- (2) 地域の景観や風土を生かしたにぎわいと活力あふれるまち
- (3) 犯罪、事故を防止し、災害に強い安全で安心なまち
- (4) 農作業体験や食育を通して、農業の役割の大切さを次世代に引き継ぐまち
- (5) 宮代多目的運動公園を基点とし、摺上川をはじめとする地域の自然と共生した個性的で魅力的なまち

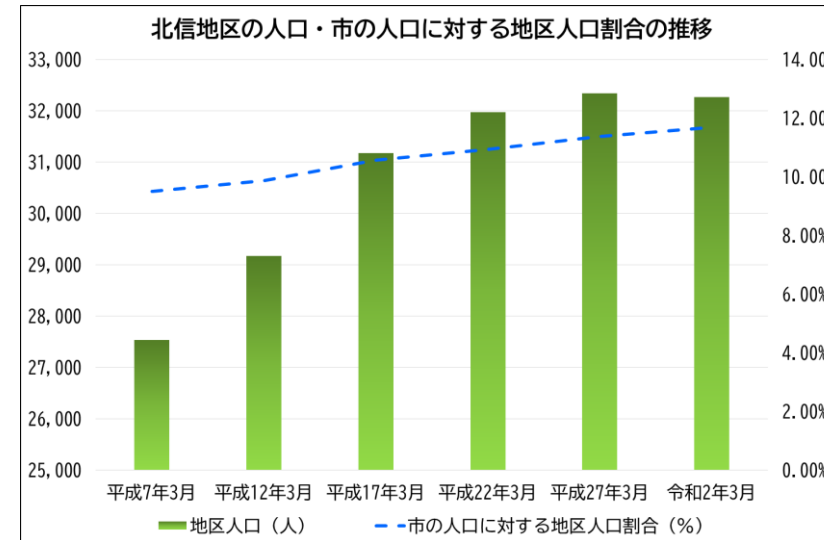


山王宮日枝神社と杉林

宮代にある山王宮日枝神社は、「山王さま」と呼ばれ親しまれています。大きな鳥居と杉林が特徴的で、境内は日本で最大規模の一揆といわれる寛延の大一揆の集合場所になったといわれています。
写真・文：ふくしま市景観100選より

地域の個性

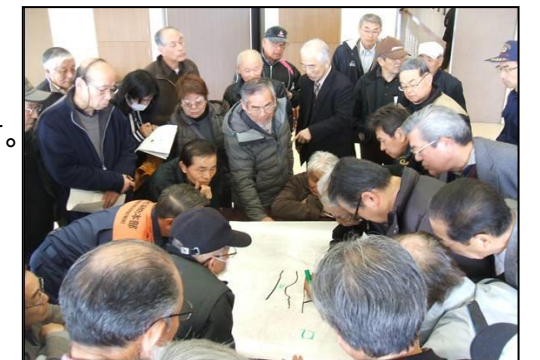
- 【位置】 北信地区は、市域の東北端に位置し、鎌田、瀬上、余目の3地区から構成されており、摺上川をはじめ、阿武隈川、松川などが周辺を流れています。
- 【公共交通機関】 地区内には、国道4号、国道13号などの主要幹線道路や東北自動車道、JR東北本線、阿武隈急行線の鉄道が通っており、JR東福島駅と阿武隈急行線の4つの駅が設置されています。
- 【公共施設】 地区の中央部には北信支所・北信学習センター、飯坂消防署東出張所、福島学院大学をはじめ、医療施設、公営住宅団地などが集積しています。
- 【農業】 周辺市街化調整区域には、リンゴ、モモ、ブドウ、サクランボなどの果樹地帯や水田などの優良農地が広がっています。
- 【商工業】 南側には本市の青果物、水産物、花きなどの流通拠点である公設地方卸売市場や卸商団地が、西側には福島北土地区画整理事業によって大型小売店や様々なロードサイドストアが店舗し、摺上川北側と阿武隈川沿いの工業団地には食品関係の工場が立地しています。
- 【名所・旧跡】 観光・歴史資源として本市でも知名度が高い日枝神社の山王祭りが行われるほか、奥の細道に関する史跡、陣屋跡、館跡などの遺跡や神社、寺院が点在しています。



項目	北信地区	市全体
面積	17.28km ²	767.72km ²
人口 (人)	32,292 (市全体の11.7%)	275,966
15歳未満	4,226 13.1%	31,659 11.5%
15~64歳	19,678 60.9%	161,424 58.5%
65歳以上	8,388 26.0%	82,883 30.0%
世帯数	14,333世帯	123,906世帯

地域の取り組みの実績

- (1) 花いっぱい運動を通して地域の美観活動に取り組んでいます。
- (2) 河川敷公園の清掃など環境美化活動に取り組んでいます。
- (3) 小学校などでの農作業体験活動を実施しています。
- (4) 宮代水源地跡地の桜の維持管理など美観活動に取り組んでいます。
- (5) 地域の安全安心のための防犯パトロールを実施しています。
- (6) 児童、生徒の通学時の見守り活動を実施しています。
- (7) 青少年の健全育成のためのパトロールを実施しています。
- (8) 小学校との連携による「昔あそび」を実施しています。
- (9) 世代を超えて参加できるお祭りなどの行事を実施しています。
- (10) 防災訓練を実施することで共助の体制を充実しています。



【三地区合同防災訓練(防災マップ作成)】

地域の強みとなる資源

- (1) 多面的機能支払交付金事業
水田や果樹地帯などの優良な農地維持のため、交付金を活用し、活動組織に支援を行い、地域資源の保安全管理を継続して推進しています。
- (2) 公共下水道管渠敷設事業
生活環境の改善を目的に整備を推進する予定です。
- (3) 普通河川渋川改修工事
治水安全度を引き上げるため改修をする予定です。
- (4) 後世に伝承する名所、旧跡の歴史的財産
歴史的・文化的価値のある名所、旧跡が数多く存在します。

地域課題

- (1) 狭い生活道路の解消、信号機設置などの交通安全対策
- (2) 蛭川、耳取川、胡桃川などの中小河川や用排水路における内外水被害に対する治水対策
- (3) 大型商業施設等やJR東北本線東福島駅、阿武隈急行線各駅などでの防犯、非行防止対策
- (4) かつての宿場町などの景観保全
- (5) 農業、工業、商業のバランスのとれた発展
- (6) ひとり暮らし世帯や高齢者世帯の増加に対応した、地域コミュニティ対策や要援護者の生活支援対策
- (7) 安全で安心して住み続けられる住環境の整備
 - ① 交通事故防止のための対策
 - ② 小さな交通など新たな公共交通網の整備
 - ③ 自主防災組織の強化
 - ④ ごみの不法投棄対策

重点的な取り組み

I 身近な環境保全

- 【方針1】地域の身近な環境を保全します。
- (継続) 農作業体験や市場見学など、地域の特色を生かした体験活動を実施します。
- (継続) 河川敷公園や学校周辺の美化活動(ごみ拾い、除草)を実施します。
- (継続) 花いっぱい運動に取り組みます。
- (継続) 市制施行100周年で、宮代水源地跡地に植栽した桜の維持管理に取り組みます。
- (新規) ごみのポイ捨てや不法投棄の対策を実施します。

II 安全・安心なまちづくり

- 【方針1】犯罪や交通事故の発生しにくい環境をつくれます。
- (継続) 各地区の防犯パトロールや交通安全対策を行います。
- (継続) 通学時の児童の見守り活動、青少年の健全育成運動を推進します。
- 【方針2】地域ぐるみで安全と安心を実感できる社会をつくれます。
- (新規) 避難情報発表時の連絡確認ルールを作成します。
- (新規) 避難訓練の拡充など自主防災組織を強化します。
- (新規) 災害時要援護者への支援方法について検討します。

III 高齢者の社会参加

- 【方針1】高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを支援します。
- (継続) 各地区または北信三地区合同で高齢者が参加できる事業を開催します。
- (継続) 高齢者が気軽に集える場づくりを推進します。
- (継続) 三世代交流を推進します。

IV 歴史・文化

- 【方針1】歴史資源を保全し、後世に伝承していきます。
- (新規) 史跡等の保護や伝統行事の継承を推進します。



【石ヶ森神社(鎌田)】



【島貴本家(瀬上町)】